



嘔吐物処理の手順



*給食従事者は、嘔吐物処理に携わらない。

①教室から全員退避させる

他の児童生徒への二次感染防止

②助けを呼ぶ・窓を開ける

本人の介護，他の児童生徒の指導，処理をする人など役割分担する。

③嘔吐物の処理

1 身支度をして感染防止

帽子，エプロン，マスク，手袋（二重），靴カバーを着用する。

注意！

嘔吐物は，周辺部（半径2m）にも飛散しています。

ⓐ 消毒薬を浸し，拭き取る。

2 ペーパータオル・消毒薬

嘔吐物をペーパータオルで覆う。

ⓐ 消毒薬をかける。（10分置く）

3 ビニール袋・布巾

拭き取ったペーパータオルをビニール袋に入れ，口をしっかり縛る。

その後，ⓐ 消毒薬をまき，布巾で再度拭きとる。

4 布巾・手袋の片付け

嘔吐物入りのビニール袋を別のビニール袋に入れ，同じ袋に手袋なども一緒に入れて口をしっかり縛る。

④手洗い・うがい

しっかりと手洗い・うがいを行う。



感染防止ポイント①



二次感染が心配されますので，他の児童生徒を教室の外に誘導します。

感染防止ポイント②



窓を開け，換気を行います。

感染防止ポイント③



児童生徒に手洗い，うがいをさせ，さらに二次感染防止をします。

感染防止ポイント④



その日の給食は，教室を使用せず，特別教室等で喫食するようにします。

注意！

消毒薬ⓐを浸み込ませた後，**外側から内側に向けて**，静かに拭き取ります。

※嘔吐物処理セット

使い捨てのエプロン・帽子・マスク・手袋・靴カバー，新聞紙，布巾，ビニール袋，バケツ，ペーパータオル等
(消毒薬は教室には置かない)

消毒薬の作り方



500mLの水に，ペットボトルのキャップを使用して，次の消毒薬を作ります。
(塩素系漂白剤（5%）使用の場合）

嘔吐物処理用・・・ⓐ 消毒薬

500mLにキャップ2杯

床周辺等の消毒用・・・ⓑ 消毒薬

500mLにキャップ1/2杯